

町政を問う

町民のいのち・暮らし・教育を守れ！



幅田千富美

消費税増税などへの認識は

幅田 消費税増税は社会保障のためといいつながら大企業減税、大型公共事業整備拡大、そして社会保障を根底から崩す「社会保障改革プログラム」を決定。憲法無視の暴走に、怒りが広がっている。町民生活・地域経済・町財政への影響をどう認識されているのか、その対応について伺う。

町長 国会の議論は、地方でされてもいかなるものか。具体的には担当課長が答弁する。
住民課長 消費税は、一般会計で約六千五百万円（H24年決算ベース）生活保護は、全国一律基準となっております。

幅田 生活保護費削減は、

子育てなどの暮らしを守る町の予算編成を

町長

事業の継続などを目安に

町民生活全体に影響。生保は憲法に定める最低水準。町民生活全体に影響する。六十年ぶりの改正だが、その影響は？その対応と減額中止を国に求めないか。

福祉課長 利用者数、総数は、把握できていない。
H26年の予算編成方針は？

幅田 四月からの消費税増税や福祉切り捨て、格差社会進行のもとで、子育てや町民生活を守る上から、町長の来年度予算編成における基本姿勢と重点施策について伺う。

町長 国民生活最低保障は国家のすべきこと。町はこれまでの事業継続と一定水準維持目標に、担当課から上がったものを見て編成する。

小学校統合の合意状況は

幅田 教委は、小学校五校を二校に、H28年4月に統合する案を提示。議会は特別委員会で協議中だが、さまざまな意見がある。

- ①教委は住民合意が成立したとの認識か。
- ②複式学級経験のベテラン教員の減が統合理由になっているが、県の回答か。
- ③スクールバス、片道30分は、冬期間のことも考慮されているか。

教育委員長 今年二月、学校・地域での説明、PTAのアンケートにより確認、二部地区の一部の保護者、八郷で反対の声もあるが、一定の合意を得た。

小学校統合の住民合意の状況は？

教育長

PTAや地域での説明会をしてきた

県の複式学級研究大会も来年からなくなる。
企画課長 バス停から約30分。冬期間のテスト運

行はしていないが、3年前の乗車時には若干の遅れが生じた。



非常時の備え（伯耆町防災車庫＝建築中）